【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2002-334495(P2002-334495A)
【公開日】平成14年11月22日(2002.11.22)
【出願番号】特願2001-142989(P2001-142989)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ１１Ｂ　17/028
【ＦＩ】
　Ｇ１１Ｂ　17/028　　６０１Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成16年8月25日(2004.8.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２】
　前記突部は、前記クランパーの回転中心軸より前記ディスクの挿入方向側で且つ前記クランパーアームの作用部に設けるようにしたことを特徴とする請求項１記載のクランプ機構。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３】
　前記突部の全部又は一部を、ディスク挿入方向側へ向けて前記突部の突出高さが低くなるように傾斜させたことを特徴とする請求項目１または２記載のクランプ機構。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項４】
　ディスクを載置するためのターンテーブルと、前記ディスクを前記ターンテーブルとの間に挟んで保持するクランパーと、前記クランパーを支承すると共に前記ディスクから離脱させるクランパーアームとを備えたクランプ機構において、前記クランパーを支持する際に前記クランパーと接触する前記クランパーアームの作用部の全部又は一部を、該ディスク挿入方向から離れるように傾斜させたことを特徴とするクランプ機構。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
　請求項２に記載の発明は、請求項１記載のクランプ機構において、突部は、クランパーの回転中心軸よりディスクの挿入方向側で且つクランパーアームの作用部に設けるように

している。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
したがって、突部をクランパーアームの作用部に設けることで、クランパーは突部に接触している場合に常に一定の方向に傾いた状態となる。さらに、突部をクランパーの回転中心軸よりディスクの挿入方向側に設けることで、クランパーはディスクが挿入される側を持ち上げるように傾いた状態となる。これにより、クランパーがクランパーアームに支持されているときにディスクが挿入された場合において、ディスクがクランパーに突き当たることを回避する。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
請求項３に記載の発明は、請求項１または２記載のクランプ機構において、突部の全部又は一部を、ディスク挿入方向側へ向けて突部の突出高さが低くなるように傾斜させるようにしている。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
請求項４に記載の発明は、ディスクを載置するためのターンテーブルと、ディスクをターンテーブルとの間に挟んで保持するクランパーと、クランパーを支承すると共にディスクから離脱させるクランパーアームとを備えたクランプ機構において、クランパーを支持する際にクランパーと接触するクランパーアームの作用部の全部又は一部を、該ディスク挿入方向から離れるように傾斜させている。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４６】
さらに、請求項２に記載のクランプ機構では、突部は、クランパーの回転中心軸よりディスクの挿入方向側で且つクランパーアームの作用部に設けられるようにしているので、クランパーアームに支持されている際にディスクが挿入される側を持ち上げるように傾いた状態となる。これにより、ディスクが挿入された場合にディスクがクランパーに突き当たることを回避できる。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４７】

さらに、請求項３に記載のクランプ機構では、突部の全部又は一部を、ディスク挿入方向側へ向けて突部の突出高さが低くなるように傾斜させるようにしているので、クランパーはディスクが挿入される側を持ち上げるように傾いた状態でクランプアームに安定して支持される。これにより、ディスクが挿入された場合にディスクがクランパーに突き当たることを確実に回避できる。

【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４８】

また、請求項４記載のクランプ機構のように、クランパーを支持する際にクランパーと接触するクランパーアームの作用部の全部又は一部を、該ディスク挿入方向から離れるように傾斜させているので、クランパーアームに支持されるクランパーの姿勢を傾斜部により規制して、挿入されるディスクがクランパーに当たってしまうことを確実に回避できる。